

アンケート集計結果

- 1 貴方ご自身のことについてお尋ねします。
 - ①年齢 ・30歳未満 2人 ・30歳代 2人 ・40歳代 6人 ・50歳代 9人
・60歳代 7人 ・70歳以上 9人
 - ②性別 男 33人 女 2人
 - ③住所 滋賀県 0人 京都府 4人 大阪府 19人 兵庫県 5人
奈良県 5人 和歌山県 2人 その他の県 0人
- 2 この講演会開催をどのようにして知りましたか。
 - ① 所属団体からのお知らせメール 15人
 - ② NPO法人都市災害に備える技術者の会 からののお知らせメール 20人
 - ③ NPO法人都市災害に備える技術者の会のホームページ 1人
 - ④ 知人から聞いた 2人
 - ⑤ その他（具体的にお書きください） 1人(伊藤理事長から聞いた)
- 3 講演の内容について
 - ① 満足した。(新たに得られた知見で、今後の活動で活用したい事項など)34人
 - ・道路啓開時にかかる苦悩や、実際の作業方法等が聞けて良かった。
 - ・ヤミ屋の親父の人柄が早期復興を助けてましたね～良かったと思います。
 - ・発災時の初動の心得を知ることができました。
 - ・発災後の行政機関の行動について
 - ・今後の改善点の8項目について、防災マニュアル作成業務の参考にしたいです。
 - ・初動期の貴重な話が聴けた。今後の活動にはどう活用できるか不明。各地整には役に立つだろうが→学識がまとめ直す必要があるのでは？
 - ・阪神・淡路大震災と大きく違うことが分かり、参考になった。
 - ・災害発生前後の支援内容(記録保存など)
 - ・大規模災害の初動について、具体的にどのようなことがなされたのか、今回の講演で良く分かり参考になりました。
 - ・現地で得た実体験がリアルで、非常に重みがある迫力のある講演だった。聴講者にとって、実際に役立つ考え方が多かった。
 - ・災害時のとるべき行動(1時間 1日 1週間)
 - ・～かも知れないと真剣に考えて準備していたことが、緊急時に役立った。災害対策本部も平時と同じ責任体制とする。
 - ・役割分担、自分のすべき事の再確認
 - ・道路啓開のプロセス、その裏側、質疑回答等全て良かった。
 - ・実際の体験を伝えていただいた。
 - ・今まで聴いたことのない内容でたいへん良かった。
 - ・啓開対応など
 - ・改めて日常の準備や訓練を行っていることが必要だと感じます。想定外に発生することに対してどう対処するか、指揮者の心得
 - ・災害対応マニュアルの防災訓練等不十分さを痛感した。(本市の・・・)
 - ・新聞などで報道されていない内容が、苦労話も含めて良く分かった。
 - ② 期待した内容と少し違っていた。(具体的にお書きください。) 0人
 - ③ その他（具体的にお書きください） 2人
 - ・国交省、県、自治体の力関係・上下・連絡体制のあり方
 - ・全体に良かった
- 4 講演の進め方について
 - ① 講演時間が約1時間30分あり、内容がよく理解できた。 32人
 - ・地整内の話で地整外の話まで展開すると立体的になるのではないかと？
 - ・良く理解できました。
 - ② 講演時間はもう少し短くした方がよい。 0人

③ 質疑応答時間が約1時間30分あり、聞きたい質問ができた。 1人

④ その他（具体的にお書きください） 0人

例：話題を2つ位にしては如何でしょう。

・国の災害時の動きが分かった。

・講演の中間にも休憩(10分程度あった方がよい)

5 今後の講演会について、ご希望のテーマ、講師、場所、時期 など

・今回のテーマのような現場の陣頭指揮をとられていた方の迫力あるお話が聞きたいです。

・防災都市計画の策定並びに運用の実際に関するテーマ。特にソフト分野(教育でなく)

・経済産業局管轄の企業のサプライチェーン等の復旧対策と推進結果など

・熊本地震について(2人) ・熊本地震など直下型地震対応

・土砂災害防止

・地区防災計画の事例、進め方

・水害対策

・防災に関するソフト対策をテーマにして欲しい

6 防災に関して知識を得たい(関心がある)ことがあれば教えてください。

・専門分野ではないので良く分かりませんが、地域で行われている防災・減災活動の事例や課題がどんなものがあるかに興味があります。

・防災に関する諸関係学のまとめ→逆に言えば、防災は総合的対応が必要であり、「たこつぼ」対応ではだめなのではないか？

・地域防災(行政・自治会等)のリーダーに必要な知識

・災害支援(体制)への参加(可能か)

・行政に特化した講習等に参加したいと思った。

・内水氾濫について

・市民が個人だけでなく、市全体を考える。市全体にとってベストな動きが何かを判断できるような日頃からの啓発・周知について

7 あなたの地域で行われている防災活動があれば教えてください。

・住民に対する防災訓練(町会毎)と実習経験(e x 煙災害経験)に参加している。

・マンション(比較的大規模団地)で、防災会があり、積極的に活動・訓練等を行っており、今回の講演も役立てたいと思います。

・奈良県県土マネージメントが行っている出前講座、土砂災害訓練は任意団体(県立防災活動研究)の仲間作りがあるが、進展していない。行政の・・・立った防災活動は未だ。

・各地区自主防災組織単位で防災意識向上のための講演会や自分たちでできることの訓練を毎年実施している。(市危機管理課や消防署による指導等)あと、見直されたハザードマップの周知

・現住所の大阪城東区では防災活動は行われていないと思う。

・避難訓練、炊き出し

8 防災に関してあなたの地域で必要と思う(足りないと思う)ものがあれば教えてください。

・和歌山～四国間を結ぶ津波防御をするものが必要だと思います。

(e x 新幹線高架と一体の堤防とか)

・行政の自助・共助・互助について、統一した手法の確立(熊本のTVを見て)特に、他行政からの支援のあり方(災害は非常事態であり早急対応が必要)

・各組織間の連携(自治連合会、社会福祉協議会、消防団等)

・豪雨時の内水氾濫について

・教育の場がない。リーダーがいない。

・机上でない避難経路について地域ごとに考える必要がある。(どの家屋が倒れるかの想定も含めて)

・老朽密集住宅と狭小道路への対応(至難ではあるが・・・)

・地域住民の防災意識があまり高まっていないのではないかと

9 その他（お気づきのこと・何でもご自由にご意見下さい）

- ・興味深いお話の数々、有難うございました。(2人)
- ・講師の方のお話がとても上手であった。
- ・とても勉強になりました。